

上位の政策名	政策目標 スポーツの振興と健康教育・青少年教育の充実	
施策名	施策目標 7 - 3 学校体育・スポーツの充実	
主管課 及び関係課 (課長名)	(主管課) スポーツ・青少年局企画・体育課 (課長: 山根徹夫) (関係課) スポーツ・青少年局参事官(体力づくり担当)(参事官: 岩上安孝)	
基本目標 及び達成目標		達成度合い又は進捗状況
	基本目標 7 - 3 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) たくましく生きるための健康や体力を培うため、児童生徒の運動に親しむ資質・能力を育成し、体力を向上させるとともに、体育指導者・施設を充実し、運動部活動を改善・充実する。	-
	達成目標 7 - 3 - 1 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 平成17年度までに、児童生徒の体力の低下傾向を上昇傾向に転じさせる。	-
	達成目標 7 - 3 - 2 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 平成17年度までに、児童生徒の体力低下の問題や体力の重要性について理解を促し、体力向上のための取組みがなされるような全国キャンペーンを実施する。	概ね順調に進捗
	達成目標 7 - 3 - 3 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 平成17年度までに、児童生徒が主体的に体を動かすようになるための資料を作成配布する。	概ね順調に進捗
	達成目標 7 - 3 - 4 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 平成17年度までに、平成13年度水準より地域のスポーツ指導者を体育の授業における教諭の補助者として積極的に活用されている状況を確認する。	想定したとおりには進捗していない
	達成目標 7 - 3 - 5 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 平成17年度までに、平成13年度水準より地域のスポーツ指導者を運動部活動に積極的に活用されている状況を確認する。	概ね順調に進捗
	達成目標 7 - 3 - 6 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 平成17年度までに、複数校合同チームが中学校の全国大会に参加できるようになるなど、複数校合同運動部活動の取組みが現在より推進されている状況を確認する。	概ね順調に進捗
達成目標 7 - 3 - 7 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 平成17年度までに、複数校合同チームが高等学校の全国大会に参加できるようになるなど、複数校合同運動部活動の取組みが現在より推進されている状況を確認する。	概ね順調に進捗	
現状の 分析と 今後の 課題	各達成目標の達成度合い(達成年度が到来した達成目標については総括)	達成目標 7 - 3 - 1 過去5年間の体力運動能力調査における児童生徒の基礎的運動能力は、低下傾向にある。平成14年度の達成目標の進捗状況については、体力運動能力調査の結果が集計中のため進捗状況は明らかではない。
		達成目標 7 - 3 - 2 平成14年度の達成目標の進捗状況については、中央教育審議会答申「子どもの体力向上のための総合的な方策について」(平成14年9月30日)を受けて、全国キャンペーン事業を平成15年度予算に計上(205百万円)し事業展開への準備を進めており、概ね順調に進捗している。
		達成目標 7 - 3 - 3 平成14年度の達成目標の進捗状況については、中央教育審議会答申「子どもの体力向上のための総合的な方策について」(平成14年9月30日)を受けて、資料作成のための予算を平成15年度予算に計上(166百万円)し事業展開への準備を進めており、概ね順調に進捗している。
		達成目標 7 - 3 - 4 地域のスポーツ指導者の活用人数は、年度毎に増減が見られ、過去5年間の活用人数の推移は全体として横ばい傾向である。平成14年度の達成目標の進捗状況については、地域のスポーツ指導者の活用人数が1,233人と、減少しているため、想定したとおりには進捗していない。
		達成目標 7 - 3 - 5 平成14年度の達成目標の達成については、国庫補助金の予算額を増額し、県立学校だけでなく市町村立学校にも補助金を交付することができるような措置を講じたことから、外部指導者の活用人数が7,172人に増加しており、概ね順調に進捗している。

達成目標 7 - 3 - 6
平成 14 年度の達成目標の達成については、複数校合同チーム数が 13 年度と比較して 14 年度はチーム数が倍増していることから概ね順調に進捗している。

達成目標 7 - 3 - 7
平成 14 年度の達成目標の達成については、複数校合同チーム数が 13 年度と比較して 14 年度はチーム数がやや増加傾向にあり概ね順調に進捗している。

基本目標達成に向けての進捗状況

平成 14 年度の基本目標の達成度合いは、主要な達成目標である児童生徒の体力向上についての判断材料となる平成 14 年度体力運動能力調査が集計中であり、現時点では判断できない。しかし、中央教育審議会答申を踏まえた全国キャンペーンや資料作成などの各種事業を平成 15 年度予算に計上するなど、環境整備が進みつつある。また、運動部活動の改善充実については、外部指導者の活用が進んでおり、中学校や高等学校における複数校合同チーム数も増加しており、概ね順調に進捗している。

今後の課題

達成目標 7 - 3 - 1 については、まず、児童生徒が体を動かしたくなるような動機付けが必要である。また、保護者を始めとした国民全体が、児童生徒の体力の問題について正しい認識を持つような意識改革が必要である。

達成目標 7 - 3 - 2 については、まず、具体的なキャンペーンの内容を検討するための有識者による会議などを立ち上げる必要がある。

達成目標 7 - 3 - 3 についても、具体的な資料の内容を検討するための有識者による会議などを立ち上げる必要がある。

達成目標 7 - 3 - 4 については、各学校への地域のスポーツ指導者の派遣を進めるとともに、国庫補助金の交付要項を改正して盲聾養学校に対しても実技協力者を派遣できるようにする必要がある。

達成目標 7 - 3 - 5 については、市町村立学校における活用が一層進むようにする必要がある。

達成目標 7 - 3 - 6 については、平成 15 年度から複数校合同チームが全国大会へ参加できるよう、学校体育関係団体の規定の改正がされたところであり、今後、複数校合同チームの参加を促進していく必要がある。

達成目標 7 - 3 - 7 については、複数校合同チームが全国大会へ参加できるような、学校体育関係団体の規定の改正が必要である。

評価結果の15年度以降の政策への反映方針
(政策評価法第11条に基づく総務大臣への通知事項)

放課後や休日に外遊びやスポーツなどで体を動かしたときにスタンプを押すような「外遊び・スタンプカード(仮称)」や体力や健康に関する全国的なデータや個人のデータ・目標を記載できるような「スポーツ・健康手帳(仮称)」を作成・配布して、児童生徒が運動に主体的に取り組みようになるための環境整備を行う。

学校体育における外部指導者の活用については、16年度以降も活用が定着するよう、各都道府県教育委員会を通じて、全国の市町村教育委員会に活用を促す。

また、複数校合同チームの全国大会への参加については、とくに、高等学校において全国大会への参加が実現するよう、高体連等の学校体育関係団体の会議等を通じて、より一層、関係者の取組みを促す。

指標

指 標 名		10	11	12	13	14	
児童生徒の体力の状況(例) (達成目標 7 - 3 - 1 ~ 3 関係)	S 6 0						
	50m走(13歳男子)	10.30秒	10.78秒	10.73秒	10.81秒	10.83秒	集計中
	50m走(13歳女子)	10.68秒	11.02秒	11.04秒	11.10秒	11.10秒	〃
	持久走(13歳男子)	366.40秒	393.26秒	383.16秒	385.46秒	393.56秒	〃
	持久走(13歳女子)	267.11秒	294.11秒	285.00秒	292.77秒	288.61秒	〃
	立ち幅とび(13歳男子)	158.53cm	149.07cm	149.15cm	149.21cm	146.85cm	〃
	立ち幅とび(13歳女子)	147.30cm	140.17cm	139.93cm	139.30cm	138.03cm	〃
	ソフトボール投げ(13歳男子)	33.98m	29.77m	30.25m	30.43m	29.94m	〃
	ソフトボール投げ(13歳女子)	20.52m	17.49m	17.06m	17.03m	17.26m	〃
	全国キャンペーン実施力所数						
	動機づけ資料の作成配布部数						
	学校体育実技指導における外部指導者の活用状況(達成目標 7 - 3 - 4 関係)	1,436人	1,253人	1,194人	1,307人	1,233人	

	運動部活動における外部指導者の活用状況 (達成目標 7 - 3 - 5 関係)	1,922 人	2,046 人	2,094 人	3,525 人	7,172 人
	中学校における複数校合同運動部活動の状況(達成目標 7 - 3 - 6 関係)	チーム数			157	330
		全国大会参加数の可否	否	否	否	否
	高等学校における複数校	チーム数			76	109
		全国大会参加数の可否	否	否	否	否
備考						

施策目標7 - 3 学校体育・スポーツの充実

たくましく生きるための健康や体力の育成

児童生徒の運動に親しむ資質・能力を育成し、体力を向上させるとともに、体育指導者・資質を充実し運動部活動を改善・充実する。

児童生徒の体力向上

達成目標7 - 3 - 1
平成17年度までに、児童生徒の体力の低下傾向を上昇傾向に転じさせる。

達成目標7 - 3 - 2
平成17年度までに、児童生徒の体力低下の問題や、体力の重要性について理解を促し、体力向上のための取組みがなされるような全国キャンペーンを実施する。

達成目標7 - 3 - 3
平成17年度までに、児童生徒が主体的に体を動かすようになるための資料を作成配布する。

運動部活動の改善・充実

達成目標7 - 3 - 4
平成17年度までに、平成13年度水準より地域のスポーツ指導者を体育の授業における教諭の補助者として積極的に活用されている状況を確立する。

達成目標7 - 3 - 5
平成17年度までに、平成13年度水準より地域のスポーツ指導者を運動部活動に積極的に活用されている状況を確立する。

達成目標7 - 3 - 6
平成17年度までに、複数校合同チームが中学校の全国大会に参加できるようになるなど、複数校合同運動部活動の取組みが現在より推進されている状況を確立する。

達成目標7 - 3 - 7平成17年度までに複数校合同チームが高等学校の全国大会に参加できるようになるなど、複数校合同運動部活動の取組みが現在より推進されている状況を確立する。

子どもたちの体力は長期的に低下傾向

運動部活動には様々な問題点